



南区子育て力！ホップ・ステップ・ジャンプ事業

子どもの発達障がい 知る

わかる

できる 地域のサポート

昨年度のもっとネット会議の意見交換の中で「障がいがあるお子さんにも参加してほしいが、適切な受け入れができるか不安。」といった声があったことが、このテーマを取り上げたきっかけでした。申し込みを受け付けている時から熱意が伝わるほど、関心の高い参加者が多い講演会でした。

◆発達障がいとは、脳の機能の偏りが原因であり、しつけや育て方の問題ではない。日常生活の中では、診断名は重要ではない。本人の特徴(特性)を見つける。本人の困っていることを、本人の立場に立って、一緒に解決していく。

◆発達障がいの支援の目標

本人の基本特性は変わらない



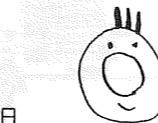
いかに本人や周囲が楽しく、苦労や苦痛を軽減して暮らしていくか。



二次障がいの予防・軽減



◆子どもへの伝え方は“具体的に”話す
たとえば「汚れたタオルを置きっぱなしにしない！」ではなく「汚れたタオルは洗濯カゴに入れてね。」というように。



◆特性がある子を見守る大人の負担

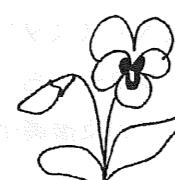
主たる養育者（主に母）の負担は大きい。ひとりで抱え込まない。よく家族で相談する（祖父母の介入はよく現状を理解してもらってから）。子育ての協力、休憩が必要。家族や地域の切れ目のない支援が重要！

<講演記録より一部抜粋>



参加者アンケートより

- 子どもの普段の行動が気になっていたが、調べる、考える時間がとれなかつたが、今日は保育をして下さり、じっくりと理解を深めることができたので、親としてどうしたらよいかわかり、漠然とした不安が解消された。
- 楽しい講演でした。たくさん聞けてとてもよかったです。もっといろんな人にきいてほしいです。発達障がいの子だけでなく子どもや親、みんなに通用するお話をでした。
- 発達障がいとは、どのような状況の事を云うのか、わからなかつたが、幅広く聞くことができてよかつた。少し理解出来たと思う。
- 本人の特徴をみつける、子どもに適した対応をするという点は、障がいがあつてもなくても大切だと思いました。



26年度は11月頃に講演会を開催する予定です。ご期待ください！

日時：平成26年2月5日(水)14時～16時
会場：フォーラム南太田3階 大研修室
講師：済生会横浜市東部病院 安西有紀先生
参加者：115名



南区の子育てを支える皆さんを応援するかわら版

第8号

にこで～和手～

2014年春号 南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹 発行

過ごしやすい季節になってきました。“子どもは植物に近い”となにかで聞いたことがあります、なるほど、春から夏にかけて子どもがグ～ンと成長することは、小さい子を育てていると実感できることですね。身体が伸びる時は、思いっきり動かしたくなるものです。風や陽の光をたっぷり感じながら心も大きく育ってほしいですね。

大人も子どもも、大いに楽しみたい外遊び。「南区子育て応援マップおひさまだいすき」は公園情報が満載です。ぜひ活用してください！



はぐはぐの樹主催 子育て支援関係者のための講座

すぐに使える！読み聞かせ・手遊び・手作りおもちゃの楽しみ方

手遊びやふれあい遊びを楽しみながら習得しませんか？サロンやサークルで参加親子とのふれあいに活かしてみましょう！親と子のつどいの広場さくらザウルスのおはなし会担当スタッフが読み聞かせのコツや、簡単に覚えられる手遊び、家庭にある物でできる手作りおもちゃを紹介します。

また、はぐはぐの樹では、集団遊び用のおもちゃや紙芝居の貸し出しをしています。当日はそれらの紹介もさせていただきます。ぜひご参加ください！

日時：平成26年4月22日(火) 14:00～15:30

会場：南区地域子育て支援拠点 はぐはぐの樹 研修室

定員：先着 20名

対象：子育て支援関係者、子育て支援に関心のある方

参加費：無料

申込み：はぐはぐの樹サポートルームへ電話またはFAX(番号は裏面に記載)にて

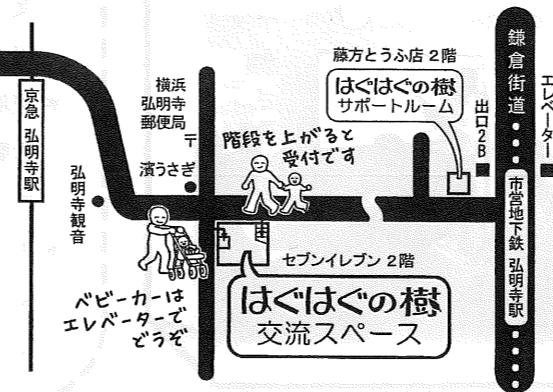
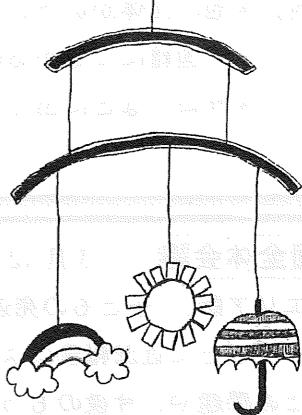
①お名前 ②連絡が取れる電話番号 ③所属(または活動場所等)をお知らせください。

*保育希望の方は、4月15日までにお電話でご相談ください。

ただいま

申込み

受付中！



「にこで～和手～」第8号

[発行]

南区地域子育て支援拠点はぐはぐの樹

(サポートルーム)

〒232-0056 南区通町4-115

アイルイン弘明寺2階

TEL:720-3655

FAX:715-3815

MAIL:info@haghagnoki.jp

年4回発行している
子育て支援関係者
向けの情報紙です。
ご意見・ご感想お待
ちします！ 次号は
6月に発行予定です。

増やそう！活かそう！高めよう！地域の子育て応援力

～南区子育てもっとネット 25年度報告～

「安心して子どもを産み育て、子育てに喜びを感じることができるように、子育てを地域全体で支援する力を高めること」を目的としている南区子育てもっとネット。25年度に開催された会議では多くのつながりが生まれたと感じています。ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました！26年度もよろしくお願ひします。

第1回全体会議 9月25日（水）14時～16時 南図書館研修室にて 50名参加

- 第2期地域福祉保健計画子育て部会について
- 全参加者が自己紹介と取り組みの近況報告
- 第1回もっとネット永田エリア版の報告およびエリア版についての感想や“どのような取り組みが自分たちのところでできるか？”について意見交換。（一部抜粋）
 - 【より身近な連携】 *連携を取ることの必要性を感じる。母子それぞれに居場所が必要。
*会議を行って顔を知るだけでも違う。顔がわかると紹介しやすい。
 - 【情報交換】 *情報交換会をやりたい。チラシやリーフレットだけではわからないことが、顔を合わせることで具体的にわかる。
 - 【スキルアップ】 *最近、質問を受けることが多くなってきたので私たちも情報収集して勉強したい。
*相談を受けるが、どこにつないだらよいのかわからない。
 - 【担い手】 *人が少ないので、いろいろ参加している人にさらに頼むのは難しい。ボランティアを逃がさないためにも気持ちよく活動してもらう。来てよかったですと思えるようにしている。
*担い手不足。「イキイキポイント」を使って声掛けできるといいのではないか。
 - 【その他】 *他の団体がいろいろな事をやっているとわかった。感心する反面、少し負担感もある。
*外国籍につながる親子をどう取り込むか。
*サロンなどに出て来ていない親子が気になる。来てくれているだけで安心できる。

第2回全体会議 3月12日（水）14時～16時 南図書館研修室にて 40名参加

- 永田エリア版、「子どもの発達障がい」の講演会、25年度地域福祉保健計画について報告
- グループごとに近況報告による情報交換
- 活動上の課題や、今後のもっとネット（全体会議、エリア版）について意見交換（一部抜粋）
 - *パパが来た時の居場所の作り方で悩む。パパ同士のつながりをどう作ったらいいのか？
 - *小さな頃から障がいのあるなしを超えてかかわりを持っていれば、自然と受け入れが出来るようになるのではないか。発達障がいを心配する母への声掛け（相談の受け方）が難しい。
 - *チラシなどは、置いておくだけじゃなく、こういうところがあるよと声をかけて、スタッフから半ば強制的に手渡しているが、そうすると目を通しているようだ。
 - *知らない人にどう情報を伝えていくか。
 - *ネットワークは普段は緩やかでも、本当に必要な時に繋がれると良いと思う。
 - *保育園の園庭開放は敷居が高いと感じている人もいるので、例えば、集団で「今日は〇〇保育園の園庭開放へ行こう」とか、地区版のスタンプラリーはどうか。地区を知ることにもなる。



★25年度から新たに参加した施設・団体★

- つどいの広場 えの木
リラのいえ（NPO法人スマイルオブキッズ）
堀ノ内睦町地区 子育てサロンのびのび
【にこで6号でご紹介しました。】
- 蒔田地区 子育てサロンあかいくつ
【にこで7号でご紹介しました。】
- 寿東部地区 子育てサロンサン・サンディ
【にこで7号でご紹介しました。】
- 南図書館

☆つどいの広場 えの木☆

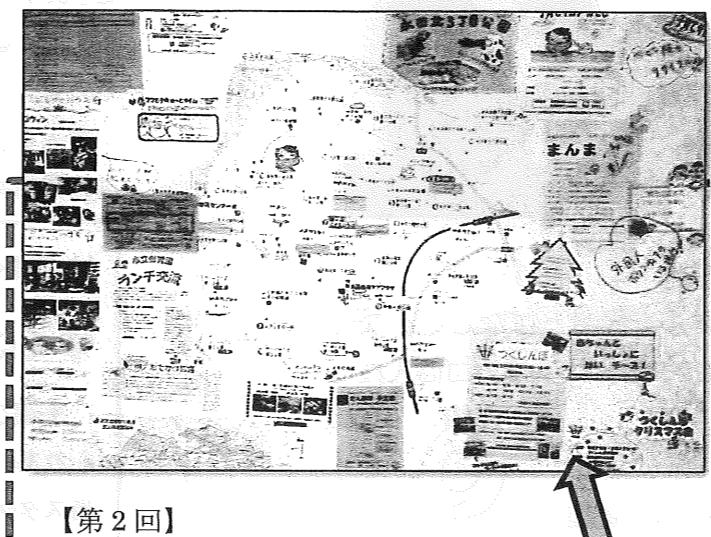
25年4月17日にオープン。横浜市親と子のつどいの広場事業として、南区内3つ目の広場。市内47カ所あるつどいの広場のうち、連合町内会が運営しているのは「えの木」だけで、地域に密着しているのが特徴。8月末時点の登録者数は112組。1日平均12～13組の利用があり、和気あいあいとした場になっている。

（自己紹介・近況報告より）

☆リラのいえ(NPO法人スマイルオブキッズ)☆

入院・治療中のお子さんの家族のための宿泊滞在施設を運営。昼間は多目的ホールで、きょうだい児の預かり保育をしていて、1日3～5人程度の利用がある。病院に通うことに合わせて、なるべく臨機応変に対応している。保育料は1時間500円だが、若い世代には負担が大きいので、公的な助成があるといいと感じている。

（自己紹介・近況報告より）



【第2回】

- 第1回での話し合いを踏まえ、永田子育て資源マップ作りのワークショップを行った。

【第1回】

- 趣旨説明、お互いの活動紹介、永田エリアの課題と対応策、エリア版で取り組みたい事を話し合った。⇒ 周知方法や担い手等に課題



- 作業をしながら、また、出来上がったマップを見て意見交換

*災害時、自宅にいられない場合に、まず避難する場所が「いっぽき避難場所」ということだが、行政からの指定ではなく、地域が主体になって決定しているもののこと。マップに書き込んで伝えられると良い。

*外遊びの場についても情報として載せていくといい。

*マップ上では公園が正式名称で載っているのでピンとこない。地域での通称名も載っていると地域の歴史を知ることにもなり、地域への愛着にもつながる。

たとえば、殿ヶ谷こどもひろば ⇒バス公（昔、廃車になったバスが設置されていた。）など

*4月20日永田地域ケアプラザの「永田支えあいまつり」でマップを掲示して紹介したい。

*地域の他の人たちにも今日のような活動をしていることを知つてもらいたい。

*エリア版が他の地区にも広がっていくと良い。永田エリアでも続けていってほしい。

○26年度の南区子育てもっとネット○

- 全体会議を2回開催（6月・2月）
- エリア版 永田エリアで引き続き開催
他のエリア（1、2か所）での開催を検討・推進
- まちのほっとスペーススタンプラリー2014を9～11月に実施
- 南区子育てカレンダー、もっとネットメーリングリストの運用
- 南なんデーなどでの支援場所の周知

つながりの輪を
さらに広げて
いきます！

引き続き、ご協力よろしくお願いします！